

1年 算数科学習指導案

1、単元・教材名 3つの かずの けいさん

2、単元指導目標

関心・意欲・態度	3つの数をたしたり、ひいたりする計算を1つの式に表すこと のよさを知り進んで用いようとする。
数学的な考え方	3つの数をたしたり、ひいたりする計算を1つの式に表すとい う考え方ができる。
表現・処理	3つの数をたしたり、ひいたりする計算を1つの式に表すこと ができ、計算することができる。
知識・理解	3つの数をたしたり、ひいたりする計算の意味を知る。

3、指導計画(全5時間)

第1時 1つの式に表す方法を知る。

3つの数の計算(+、+)の場面を理解し、計算ができる。【本時】

第2時 3つの数の計算(-、-)の場面を理解し、1つの式に表して計算することが
できる。

第3時 3つの数の計算(-、+)の場面を理解し、計算ができる。

第4時 3つの数の計算(+、-)の場面を理解し、計算ができる。

第5時 既習事項の復習

4、ICT活用のポイント

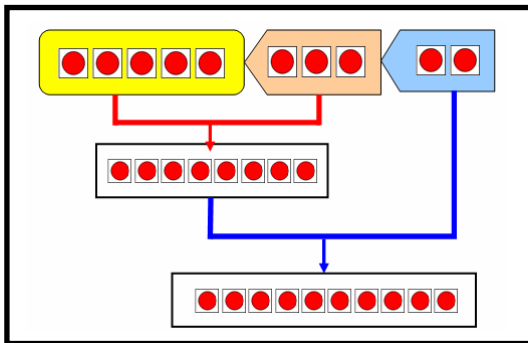
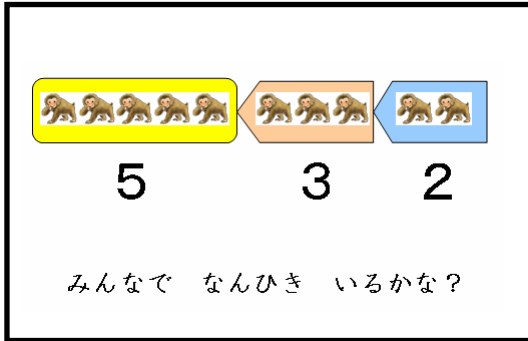
授業場所	1B教室
授業形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> 補習
ICTを活用する場面	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他
ICTを主に活用する者	<input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 学習者 <input type="checkbox"/> その他
ICTを活用する目的	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明資料 繰り返しの定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 比較 振り返り その他()
活用するICT	プロジェクター、コンピュータ

5、セールスポイント

- ・イメージ化させることで問題場면을把握しやすくなる。
- ・アニメーションによって、数字や式の意味が考えやすくなる。

6、教材

自作 3つの かずの けいさん



7、本時の目標

- 1つの式に表す方法を知る。
- 3つの数の計算(+、+)の場面を理解し、計算ができる。

8、本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1. パワーポイントによる自作教材を活用し、増えて・増える 問題場面を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童の興味関心を引き出し、視線を集める。 ○問題場면을イメージ化させる。 </div> <p>2. 1つの式で表す方法を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各場面での数の動きを意識して見せる。 ・場面内容が理解しにくい児童がいる場合は立ち止まり、補足説明を加えながら丁寧に把握させる。 ・みんなで何匹になるのか本時の課題をつかませる。 <p>・問題場면을踏まえて、増える様子を式に表せるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項である2口の立式を発展させる形で考えさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">しきの いみを かんがえよう。</div>	
<p>3. 式や数字の意味を考える。</p> <p>4. 計算の仕方を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【ICTの活用】</p> <p>1つの式に表す方法と計算の仕方をまとめる。</p> </div> <p>5. 練習問題をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードを用いて、2度増加したことや文意に沿って「+」が必要なことなど式の意味を考えさせる。 ・自作教材とリンクしたワークシートを活用し、計算方法をまとめる。 ・数字の意味を考えさせることで、1つの式に表すことができることを理解させる。 ・理解しにくい児童には数図ブロックを操作させ、答えを考えさせる。